

工学部教室系技術職員研修（第1回）実施要項

1. 目的

教室系技術職員としての立場と責務を自覚させるとともに、大学における技術職務全般への視野を養い、自己啓発、相互啓発の機会を与えることにより、職員としての資質の向上及び新技術の修得を図る。

2. 対象者

行政職俸給表（一）の適用を受ける工学部教室系技術職員全員
（超高压電子顕微鏡センター、ラジオアイソトープ総合センターを含む）

3. 期間

平成4年8月25日（火）～8月27日（木）

4. 場所

大阪大学附属図書館吹田分館視聴覚ホール

5. 日程

別紙のとおり

6. 研修テーマ

「創造的研究・教育支援の場における安全について」

7. 研修方法

(1) 基調講演

(2) グループ毎の発表及び討論

全技官を、担当している業務内容等によって

1. 化学／薬品／ガスを扱う技術分野
2. 生物／生体を扱う技術分野
3. 放射線を扱う技術分野
4. 機械関連の技術分野
5. 電気関連の技術分野
6. 建設関連の技術分野
7. 材料／物性関連の技術分野
8. 複合的システム技術分野

上記8グループに分け、各グループ毎に各自の職場あるいは業務における安全に係る問題を掘り起こし、追及すべき問題点の整理・体系化、問題の理解、さらには解決策についても、十分な考察を加え各分野ごとに発表及び討論を行う。

(3)学内施設の見学

8. 基調講演講師

大阪大学人間科学部 長 山 泰 久 教 授

大阪大学工学部 松 浦 虔 士 教 授

大阪府立大学総合科学部 辻 克 彦 助 教 授

9. 研修のまとめ

研修終了後、要旨集を発行する。

10. 経 費

受講者の研修に要する経費は、工学部の負担とする。

なお、懇親会費は受講者の負担とする。

11. 研修の記録等

研修を修了した者には修了証書を交付し、その旨人事記録に記載する。

12. 研修担当掛

総務課人事掛 (内線4008~10)